



認知症学会

認知症学会で、認知症ご本人とご家族の声を聞く機会がありました。

登壇された方々は、お一人は、8年ほど透析クリニックで働かれていた看護師さんでした。以前はできていた仕事ができなくなり、その後職を転々とすることも長続きしま



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所 まつばらホームクリニック 院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

せん。今年になって、文章も読めなくなってしまうたといいます。

もう一人は、職場で管理職をしていた男性です。あるときから部下の発表が理解できなくなり、退職。今は簡単な掃除などの仕事をされています。

その職場では気分屋の上司に振り回され、愚痴もたまに言われているようですが、それでも仕事はできる」と話されています。

一方のご家族ですが、自分の親御さんが認知症で現在介護中という方は、

「以前できていたことができなくなり、出口が見えず、泥沼にはまったよ

す。その活動の一環として全国には認知症オレンジカフェがあります。西

症の研究に努め、このたび日本認知症学会認知症専門医を取得しました。現在、月に1回在宅医療カンファレンスを行なっています。そこで認知症専門医の「辻内科循環器歯科クリニック」の辻

東京市にも数カ所あるの
で、気軽に利用される
ことをお勧めします。

私は、以前から認知症は大きな社会問題になる
と思っていたため、認知

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応：午前9:00～午後6:00
■定休日：土日(祝日は診療)
■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部



↑診療相談はこちらから

まつばらホームクリニック 検索